

Action	方針	具体的な取組	取り組み内容（まとめ）
Action 1. 生物多様性を知る	(1) 調査分析・情報提供	古賀に生息・生育する生きものの把握	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、ポランティアの市民（生きもの調査隊員）による「いきもの調査」や小中学生親子を対象とした生きもの観察会を行った。市民参加型の生きもの観察会は、古賀グリーンパーク、千鳥ヶ池、古賀海岸、大根川で実施し、二ホンウナギやキボシチビツブゲンゴロウなどの希少生物を確認している。 市主体の調査としては、令和5年度に、市内のアライグマの生息状況を調査した。
		生きものに関する情報を共有する仕組みづくり	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、市内の生きもの調査を行い報告書を小・中学校に配布した。 まつり古賀やKOGA環境ひろばなどイベントでの情報発信やぐりんぐりん古賀HPでの情報発信、環境課窓口での情報提供を続けている。
	(2) 自然や生きものとふれあう場の充実	森林レクリエーションの場づくり	森林所有者の意向を確認しつつ、間伐や除伐を行うなど森林の保全活動を行っている。
		農とふれあう場づくり	市民農園4か所の広報周知や、認定農業者で組織する「古賀市認定農業者協議会」が行う市内の子どもたちを招いたサツマイモの収穫体験会の開催を支援し、農業とふれあう場づくりに取り組んだ。
		食を通じた自然の大切さの理解促進	認定農業者協議会と連携し、農業体験（芋ほりなど）を通じた消費者交流事業を実施した。 農業委員会による「農業委員会だより」の発行により、市内の農産物や農業者、農地の保全に向けた取組などを紹介し、食を通じた自然の大切さについて理解促進に努めた。 子どもたちへの食育としては、出前講座や小中学生への食育活動（みそづくり、スタンドアロン支援事業と連携した調理実習など）の中で、食を通じた自然の大切さの理解促進に努めた。
		生きものとふれあう水辺の充実	生きもの生息に配慮した、安全に川遊びや環境学習が行える場として、「大根川親水空間」が完成し、九州大学と連携した市内小学校向けの環境学習を続けている。 大根川親水空間以外では、千鳥ヶ池や古賀海岸（河口付近）、薬王寺公園内のピオトープが生きものを観察できる場所として利用されている。
		生きものとふれあう公園の充実	千鳥ヶ池公園はぐりんぐりん古賀との共働委託により、市民参加型の生き物観察会を開催するなど環境学習に活用されている。 千鳥ヶ池公園や薬王寺水辺公園内のピオトープはぐりんぐりん古賀と共に外来種の駆除や環境整備を継続して行っている。
		生きものとふれあうピオトープの充実	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、舞の里小学校、薬王寺水辺公園内のピオトープの環境整備や外来種駆除などの保全活動が行われた。 舞の里小学校内のピオトープは、毎年5年生がぐりんぐりん古賀と共に保全や管理に取り組んでいる。令和6年度は、専門家の意見も取り入れながら、子どもと大人と一緒に理想のピオトープを協議する「ピオトープサミット」を開催され、観察台の設置や橋の修繕など、環境整備を進められた。 薬王寺水辺公園のピオトープについては、令和6年度に台風後の土砂崩れにより、ピオトープ内に土砂が入り込んでしまったため、改修工事を検討している。
	(3) 環境教育・学習の推進	生物多様性に関する普及啓発	広報誌や古賀市HPにて生物多様性に関する情報発信を行った。 KOGA環境やパネル展での生体展示や、市民参加型の生き物観察会を通じて、多くの人に生物多様性について普及啓発を行った。
		生物多様性に関する講座や体験学習の推進	市民親子に向けて、自然環境に関する講座、動物とのふれあいやファンヘルスへの理解を深める講座を、令和4年度からテーマを変えつつ継続して取り組んでいる。
		学校における環境教育の推進	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、小学校における虫の産卵から飼育、川への放流を行う環境学習を継続して支援している。 九州大学と連携した大根川親水空間における生き物観察会を開催する、千鳥ヶ池で行われている小学校の生き物観察会の支援するなど、多様な主体と連携した支援を行っている。 小、中学校における環境教育では、SDGsやファンヘルスを意識した授業を行った。
		古賀の生きもの紹介	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、市内の生きもの調査を行い報告書を小・中学校に配布した。 まつり古賀やぐりんぐりん古賀の活動報告展示にて、古賀市の川に生息する魚や飛来する渡り鳥や蝶の写真展示を行った。

Action 2. 生物多様性を守る	(1) 重要地域と希少生物の保護・保全	重要地域の保護・保全	ぐりんぐりん古賀との共働により、生物多様性の観点から重要な地域である千鳥ヶ池、薬王寺水辺公園の保全活動を行うとともに、大根川一斉清掃や古賀グリーンパーク内の清掃の支援を行いました。
		希少生物の保護・保全	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、千鳥ヶ池におけるツクシオオガヤツリの保全活動及び薬王寺に生息する希少生物の産卵場所の保護・保全活動を行いました。
	(2) 山から海までのつながりを意識した生態系の保全・再生	森林の保全・再生	森林所有者の意向を確認しつつ、間伐や除伐を行うなど森林の保全活動を行っている。竹の利活用に関する協議会に参加するなど、竹林対策に関する検討を行った。
		農地の保全・再生	農業委員会による農地バトロールを行い、遊休農地の発生抑止、遊休農地の担い手農家へのあっせんなどを行い、農地の保全と再生に取り組んだ。
		ため池の保全・再生	ため池を所有する農区に対して日常の維持管理を目的としたため池維持管理事業補助金を交付し、維持管理に努めた。 令和5年度に県営ため池改良工事（新砥石ヶ浦池）の工事が竣工した。
		河川の保全・再生	景観や自然環境に配慮した河川及び親水空間の確保をめざすため、地域住民、福岡県、九州大学と連携し大根川親水空間を整備した。 ボランティア団体である大根川グリーンネットにて「川の一斉グリーン作戦」が年に2回実施されており、ごみ袋の支給とごみの回収支援を行った。
		海岸の保全・再生	海岸部松林の薬剤地上散布、枯損木の伐倒駆除、薬剤の樹幹注入を行った。また、ボランティア団体（3団体）による松葉・松枝の収集が行われ、松林の環境が維持された。 ラブアース・グリーンアップを通じて、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて古賀の海岸清掃に取り組んだ。㈱ピエトロの「海ごみゼロ！チャレンジ」の後援を行い、清掃活動の支援を行った。
	(3) 外来種への対策と野生鳥獣による被害の防止	外来種に関する情報収集と対策の検討	ぐりんぐりん古賀との共働委託により、千鳥ヶ池に生息する侵略的外来種及び福岡県における重点対策外来種であるアカミガメの防除を実施し、千鳥ヶ池の生態系の保全を行った。 国内で生息域が拡大している特定外来生物アライグマに対する防除活動を開始するため、令和3年度に「古賀市アライグマ防除実施計画」を策定し、合わせて先進地視察を行った。
		侵略的外来種・特定外来生物への対策	千鳥ヶ池はオオクチバスやブルーギル、アカミガメといった侵略的外来種の生息も確認されているため、ぐりんぐりん古賀と共働で外来種防除を継続して実施している。 特定外来生物であるアライグマについては、令和4年度より「古賀市アライグマ防除実施計画」に捕獲防除しており、令和6年度に策定された「福岡県アライグマ防除実施計画」に参加し、県や周辺市町村と連携した対策を実施している。
		外来種に関する知識の普及啓発	市公式HP、広報紙、パネル展において外来種について啓発を行った。 身近な外来種について令和6年度に市民向け環境講座を開催した。 令和4年度からアライグマ防除講習会を開催し、併せて、特定外来生物であるアライグマについて講義を行った。
		野生鳥獣被害への対策	粕屋郡猟友会古賀支部によりイノシシ・シカ等の有害捕獲を行った。また、福岡県広域森林組合により山林にてシカの捕獲を行った。
		野生鳥獣被害防止のための啓発	粕屋郡猟友会古賀支部によりイノシシ・シカ等の有害捕獲を行った。また、福岡県広域森林組合により山林にてシカの捕獲を行った。 アライグマ防除講習会において、福岡県の開発した「福岡県鳥獣被害対策システム」を紹介し、市内の野生鳥獣の目撃情報投稿を呼び掛けた。
	(4) 環境に配慮した行動の推進	生物多様性に配慮した行動の啓発	環境パネル展やKOGA環境広場において、日々の暮らしのなかで取組むことのできる生物多様性に配慮した行動について啓発展示を行った。
		環境に配慮した商品の普及啓発	環境に配慮した商品について、イベント等でのパネル展示やホームページなどで啓発を行った。庁内職員に向けてグリーン購入を呼び掛け、庁内で購入されている消耗品のうちグリーン購入がなされているか調査を行った。
		公共施設での取組のPRを通じた地球温暖化対策の推進	令和元年度にリーバスプラザが図書館・交流館ロビーを「こがクールシェアスポット」とし、地球温暖化防止を中心としたパネル展を開催した。 令和3年度に「古賀市ゼロカーボン宣言」を行い、市全体で地球温暖化防止に取り組むことを宣言した。 令和4年度に完成した古賀市海津木苑に太陽光発電設備を設置し、HPにて周知した。 令和6年度に「古賀市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の改定を行った。
		ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止	市内を3区域に分け、月に4回不法投棄の多い地域を巡回する不法投棄夜間バトロールを実施し、必要に応じて看板の設置などの啓発を行った。 漁具等の海岸漂着物や大型ごみの不法投棄が発生しやすい海岸部、山間部の行政区に対し、環境美化及び不法投棄防止を目的とした清掃活動に対して支援を行った。
		環境にやさしい事業者・事業活動の促進	ラブアース・グリーンアップやアダプトプログラム、大根川一斉清掃を通じて企業の保全活動を促進した。 ネイチャーポジティブを主題とした庁内職員向けの研修を令和5年9月に開催した。
	(5) 自然と調和する伝統的な文化や知恵の継承	生物多様性に支えられる文化の継承	令和3年度に古賀の歴史や民話などの内容で構成した郷土読本「わたしたちのこが」を発行し、一般販売に加え、市内小学3年生に配布（以降5年間、同様に配布）した。市内に点在する様々な文化財について「市指定文化財」への指定に向けて審議を重ねた。
		生物多様性に支えられる食の継承	古賀市の郷土料理である「らぶ（たぶ）」や「石瓦煮」などをコスモス広場にて販売、「鶏すき」を農業委員会だよりにて紹介した。 地域おこし協力隊が行う農産物加工品の開発等を支援し、古賀市の伝統的食文化の継承に寄与した。

Action 3. 生物多様性を活かす	(1) 自然を活かした暮らしの推進	地産地消の推進	コスモス館における農産物販売、地域への移動販売を行った。
		県産木材の活用	令和元年度に公共施設間連絡バスのバス停1基及び古賀市民が多数利用する古賀グリーンパークベンチ3基を設置した。
		自然エネルギーの普及	市内の公共施設等において再生可能エネルギー設備導入可能性調査を実施し、適切な導入手法等を検討した。今後は調査結果を基に適切な普及を図っていく。
	(2) 魅力ある地域づくりへの活用	豊かな自然を活かした観光の振興	古賀市観光協会と共に、古賀市の歴史や文化、自然環境などを紹介する観光ガイドを作成した。
		生物多様性の恵みを活かした特産品づくり	「朝どりこがスイーツコン祭」や「農家直売！軽トラ市」を行い古賀市の農産物のPRを行った。 また、園芸産地育成のため、いちごや柑橘の栽培農家に対しての補助を行った。「朝どりこがスイーツコン祭」や「農家直売！軽トラ市」に加え、農産物のさらなる販売方法を検討する。
		歩いてん道の普及・活用	写真挿入や説明文を掲載した「歩いてん道」「プランテンDo」マップを作成した。ウォーキングイベントと地域活動などにつながるウォーキング講座を開催し、自然保護や歴史に関する情報提供を行った。
Action 4. 環を広げる	(1) 活動主体の支援	多様な主体による保全活動や美化活動の支援	「ぐりんぐりん古賀」の団体活動において、大根川の清掃、薬王寺希少生物の保全、アサギマダラの里づくり、舞の里小学校ビオトープの保全を実施した。 漁具等の海岸漂着物や大型ごみの不法投棄が発生しやすい海岸部、山間部の行政区に対し、環境美化及び不法投棄防止を目的とした清掃活動に対して支援しました。また、ボランティア登録された方にゴミ袋を配布し、清掃後のゴミ袋の回収の支援を行った。
		NPOなどの団体からの提案による保全活動事業の実施	「ぐりんぐりん古賀」と協働委託で行う保全事業については、運営委員会と協議し事業内容を決定している。 令和4年度に古賀寛成館高校及び市内の小学校2校とNPOが連携して取り組む保全活動を支援した。
	(2) 連携の仕組みづくり	多様な主体の情報交換・活動発表の場づくり	令和4年度に古賀市内および近隣市町村においてSDGsの視点から様々な環境問題の解決に向けた取組を行っている団体が一堂に介し、それぞれの活動状況や手法を発表する「KOGA環境活動じまん！」を開催した。 小中高校、市民団体、企業など多様な立場の団体がお互いの活動方法について学び合い、交流を行った。
		多様な主体が連携する事業の促進	環境ボランティア体験について「おでかけハンドブック」への掲載、つながり広場へのぐりんぐりん古賀の情報提供をし、参加したくても参加する場が分からない状況の解消に努めた。また「グリーンカーテンの匠」を環境教育の場で活用するなど現在ある人材の活用にも力をいれた。 令和4年度より、市内や近郊で環境活動に取り組む学校・企業・市民団体が一堂に集い、その取組内容を発表しお互いの活動をたえ合う「KOGA環境活動じまん！」を開催した。
		人材活用の機会づくり	令和3年度に、古賀市環境人材バンクを運用開始した。 環境アドバイザーや環境プログラムの活用により、自然環境に関する専門的な知識を有した市民や環境に関する活動を行う市民団体等の人材活用の機会を創出した。